



エッセイ
「私と手話」④

登録手話通訳者 大室彰子さん
おおむらひあきこ



周りに支えられながら

市の手話通訳者の中で私は最年長ですが、手話との出会いは40歳と遅いほうでした。

子育てが一段落して、何か新しいことを…と保育園の子育てボランティアに参加した時、初めて手話を教わりました。これが楽しくて「もっと手話の単語を覚えたい」と手話サークル「石狩ひまわり手輪の会」に入会。でも、まだか手話通訳者になるとは夢にも思いませんでした。

実際に通訳の仕事を始めると、伝わっているか不安に思うことも。それでも、そう者から「最初はみんな同じだよ」となぐさめられたり、先輩からは「あなたの手話は下手だけど気持ちがある」と言われたり(笑)。そんなふうに励まわれながら、今日まで続けられることができました。だから、声をかけてもらえぬうちは、とにかく精一杯頑張ろうと思っております。

問 障がい福祉課

☎ 72・3194 FAX 75・2270

広告